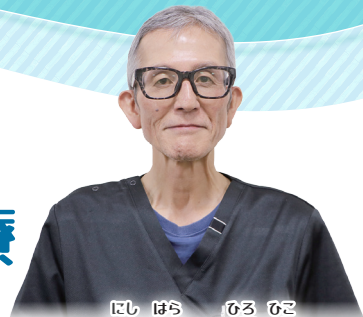


スポーツ復帰を目指す 膝前十字靭帯断裂の治療



整形外科部長 **西原 洋彦**

膝前十字靭帯(ACL)の役割と損傷

膝前十字靭帯(ACL)は、けいこつ だいたいこつ脛骨が大腿骨に対して前方へずれるのを防ぎ、膝関節の安定性を保つ重要な靭帯です。この靭帯が正常に機能することで、急なターンやストップ、ジャンプの着地といった動作が可能となります。しかし、バスケットボールやサッカー、スキー、バレーボール、柔道、アメリカンフットボールなどのスポーツ中に断裂することが多く、受傷後は膝の腫れや痛み、不安定感が生じます。自然治癒は困難で、放置すると膝崩れを繰り返し、半月板や軟骨損傷を引き起こす恐れがあるため、適切な治療が重要です。

MRI 横から見たところ

正常



断裂



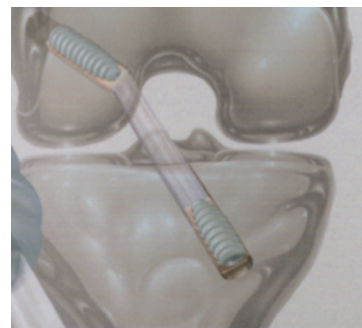
前十字靭帯再建術と術後の経過

前十字靭帯再建術は、断裂した靭帯に代わる移植片を脛骨と大腿骨に作った骨トンネルの中に入れ、それをスクリューなどで固定する手術です。

前十字靭帯断裂に対しては、初期固定性に優れた骨付き膝蓋腱(BTB)を用いた再建術を実施しています。手術は全身麻酔下で約90分、入院期間は約10日間です。術翌日から全体重をかけた歩行訓練を開始し、退院時には杖なしで歩行できる方が多くみられます。また、将来骨に置換される吸収性スクリューを使用するため、抜去のための再手術は不要です。



吸収性スクリュー



移植片を骨に通してスクリューで固定する。

スポーツ復帰を支えるリハビリテーション

術後は専門スタッフによる段階的なるリハビリを行い、約2か月でジョギングを開始します。スポーツ復帰は通常6か月、柔道やアメリカンフットボールなどの激しい競技では8~10か月後を目標としています。患者さん一人ひとりの状態に応じた支援を行い、早期の社会復帰と競技復帰を目指します。



東京警察病院整形外科の紹介

東京警察病院整形外科では、外傷からスポーツ障害、関節疾患まで幅広い診療を行っています。豊富な手術実績と高度な専門性を生かし、患者さん一人ひとりに寄り添った質の高い医療を提供しています。

地域の皆さまに信頼される診療科として、安全で安心できる医療の実践に努めています。